

募金活動報告

日時 2011年7月20日（水）11:00～17:00

活動場所 アトレ川越出入り口付近

11:00 川越駅集合

11:00～11:30 チラシ折り、昇り旗・募金箱のセッティング

11:30～17:00 募金活動。アトレ前で呼びかけ。

参加人数 4名（全て気仙町出身者。長部、今泉地区より各2名）

台風が接近しており、雨が勢いよく降りましたが一時的なもので、すぐ止み、風が強いものの、特に天候に妨害されることはありませんでした。

チラシを配る人、募金箱とチラシを持つ人、募金箱と昇り旗を持つ人、と分担しました。

チラシは、気仙すぎの子基金のホームページ上に載せてあるものです。昇り旗は菅野美奈子の手作りで、募金箱も皆の手作りです。

アトレの出入り口付近のスペースを広く使い、川越駅から来る方に向かって、チラシを配る人が一番駅よりに立ち、呼びかけ、アトレ側に、募金箱と昇り旗を持つ人が立ちました。チラシをもらって見たら募金活動をやっている・・・という流れを考えての配置です。また、本川越駅方面に出る通路付近（アトレ側）も通行人が多いため、チラシを皆が持ってすぐ渡せるようにしておきました。募金にご協力してくれた方にも、ホームページも見ていただけたらと、チラシをなるべく渡すようにしました。

とにかく皆で大きな声で呼びかけをしました。「陸前高田市気仙町の小中学校への支援金にご協力お願いします」や、「東日本大震災の大津波により校舎が流されてしまった、気仙町の小中学校を支援しております。皆様のご協力お願いします」などと、各自何パターンか思いつくものを呼びかけていきました。

募金をしてくれる方、中にはチラシを見て足を止めて下さる方もいらっしゃいました。さらに陸前高田市出身者、大船渡市出身者の方がいらっしゃいました。話しかけてくれ、色々なお話しをすることが出来ました。

旦那さんのご実家が高田町の福田荘で、震災後は3~4回高田入りしたという方。大船渡市にご実家がある方。震災以降は、行ってないけれど、行ってもなにも出来ないとおっしゃっていました。しかし私は、何も出来なくともあの光景を目に焼きつけておくだけでもいいと思いますと伝えました。これから復興する為にも、ちゃんと見ておかねばと思うのです。

実際に震災後、家族で岩手に行ったという方もいらっしゃいました。皆様の関心の高さに胸打たれました。岩手の内陸出身の方もいらっしゃいました。震災直後は色々なところで募金活動を見かけたけれど、今はあまり見かけないとおっしゃっていました。世間はだんだん忘れてくるから、テレビでもやらなくなるし・・・とメディアがあまり注目せず、情報発信が途絶えた現状の話しをしました。

小さなお子さんが、お母さんからお金を預けられて、「はいっ」と募金してくれました。とても癒されました。そして、中高生の女の子達が募金してくれました。こんなに若い世代に協力してもらえて、本当に嬉しいし、頑張ろうという気持ちになりました。

皆さん、募金をするとき、「頑張ってくださいね」という一言もそえてくれ、「頑張ります！」と答えました。とても励みになりました！！

「あなた方はどういう団体ですか？」と聞かれ、「皆、陸前高田市気仙町出身で、気仙町の小中学校の支援をしています」と答えました。やはり様々な団体があるので、いかにわかりやすく、支援活動をPRするかも大切だと思いました。

その為には、被災地の現状、今までの活動内容、集まった募金額等、見てわかりやすいようなチラシを作っておいて、このような質問を受けた時に活用すればと思いました。今回の募金活動で気づいたこれらのことを、今後の募金活動に生かしていきたいと思います。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました！今後とも生まれ育った気仙町の子ども達の為に、学校を再建する為にも、頑張ります！

これにてご報告とさせていただきます。

熊谷 亜也枝